

始業式 4/7(火)

2月の下旬から、学校は突然の臨時休校となりました。

今、いつもと全く違う春休みを終え、こうして、皆さんと1学期の始業式を何とか無事迎えることができたことを、素直に喜びたいと思います。不安と期待が入り混じった複雑な思いで登校した人も多いことと思いますが、新たにスタートした令和2年度の1学期が、ここにいるすべての人にとって、素晴らしいものへと好転していくことを心から願っています。

3月は、別れの季節。今年は、思いがけない臨時休校で、十分な「ありがとう」や「さようなら」も言えないままのお別れもあったことでしょう。私自身、これまでに経験したことのない悔しい年度末となりました。今、国内にとどまらず、世界中がそのような状況の中にあります。これからも、しばらくの間は、こうした状況が続くことと思います。お家の方のお仕事にも大きな影響が出ていることでしょう。不安なことがあれば、一人で抱え込むことなく相談してください。

さて、こうした中大切なのは、生徒である皆さんも、教職員である私たちも、一人ひとり、今何をすべきなのか、何ができるのかを真剣に考え、強い気持ちを持って実行していくことだと思います。世の中の動きが、日々刻々と変わり、臨機応変に対応が求められる1学期となります。テストの結果や各種大会の結果を求めるとともに、行動が制限される中で優先順位を誤ることなく、自分自身の日々の取り組みの過程を評価し、大切にできる1学期にしていきたいと思います。

人は、どれだけ大きな可能性や力を秘めていても、「絶対、無理だ」と、自分で自分の心に蓋をし、あきらめてしまつては、それ以上の可能性や力は発揮できません。もし、この中に、そんな心の蓋を持った人がいるのなら、今年度はそれをつばらい、自分の可能性を信じて、「自分が本当になりたい自分」になれるよう、一緒にがんばっていきましょう。特に、3年生にとっては、義務教育最後の総仕上げの年度です。精一杯、応援していきます。

最後に、学校は、みなさん生徒同士の、そして教職員とみなさんの信頼関係を築き、深めていくことがとても大切です。互いに心を開き、相談したり話を聞いたりしながら、お互いをよりよく理解しようと努力していくことのできる学校でありたいと考えます。気持ちをしっかりと切り替えて、お互いを信頼し、新しい年度の歩みを進めましょう。